

第3回学校運営協議会 議事録

■令和8年8月28日(土) 11:00-12:00 体育館 出席委員7名(欠席5名) 教員19名 区教委1名
司会: 副校長

1 校長挨拶

- ・CSの学校運営協議会では「地域とともにある学校づくり」をめざしているため、教職員と委員との情報や意見交換は重要である。学校が地域とよりよくつながる、地域が学校ともに活性化するためにもこれから行う「熟議」を充実したものにしたい。テーマを選択できるようにしているので、忌憚のない御意見を伺いたい。

2 委員長挨拶

- ・PTAの会長をしていた時には、こどもを通じて保護者と学校がつながるように、様々なことに取り組んでいた。学校運営協議会では、地域と学校がつながることが求められている。かつて台風が来て他校が避難所になったとき、トイレの位置さえすぐには分からないことがあった。災害時に学校のことを知っている委員がいれば力になる。相互に意見交換することで有意義な時間となることを望む。

3 委員と教員の自己紹介(略)

4 グループ別(6つ)熟議の結果報告(発表)

- ・文科省のサキドリ研究校の取組は、個人が自分のテーマを探究できることがよい。
- ・サキドリ研究の探究は自分の学びたいことを学習できるよさがある。学校に居場所もできる。
- ・学校と地域の交流にサキドリ研究のフレンドリータイムを活用できないか。例えば「芝祭」
- ・芝生はけがが少なく、伸び伸びと遊べて走り方もよくなった。心身へのよい影響がある。
- ・芝生での活動は暑さも幾分和らぐので、こどもたちも動きやすいのではないか。
- ・こどもたちとSNSとの付き合い方、芝生のよさなどの話題が出た。
- ・かつてワールドカップでコートジボワールの選手が来校し芝生のよさを称賛していた。
- ・地域の公園でこどもたちはルールを守って遊んでいる。
- ・おおたの未来づくりで地域とのかかわりができて何らかのアクションが期待できる。
- ・地域の防災訓練にこどもたちももっと参加してほしい。
- ・地域のお祭りにこどもたちはもっと参加してほしい。学校での呼びかけや掲示板を活用する。
- ・地域のお祭り等にこどもたちが集まらないのは「知らない」「伝わってない」こともある。
- ・地域のイベントにこどもたちが参加することで、地域への愛着が生まれる。
- ・地域と学校とでかつてはお祭りや映画会を行ったこともあった。
- ・人と人、学校と地域のつながりは大切で、新しい交流方法を考えたい。
- ・地域とこどもたちをつなげていくため、学校と地域がそれぞれの役割を果たしていく。

5 終わりに

- ・キーワードは「つながり」「サキドリ研究校のよさ」「芝生の活用」など、地域のお祭りなどがこどもたちの思い出づくりになるとよい。

6 今後の予定

- ・10月31日（土）道徳授業地区公開講座 ・11月13日（金）第4回学校運営協議会